



エリック先生と外国語活動 ～生きた英語に親しんでいます～

本市には、エリック先生とジャコブ先生という2人のALT(外国語指導助手)がいます。ALTは市内の小中学校を巡回して、担任や教科担任と一緒に外国語活動(小学校)や英語(中学校)を教えています。

10月5日、エリック先生は、厚狭小学校を訪問。5年生の授業では、エリック先生の英単語の発音を聞かせ、それをまねて発音練習をさせたり、児童同士の会話にエリック先生が加わり、児童と1対1で英会話をしたりして、児童が英語に慣れ親しむことができるようにしていました。授業後に感想を聞くと、「エリック先生がいると正しい発音がよく分かる」「楽しく学習できる」と話していました。ALTの2人は、給食も教室で食べることが多く、コミュニケーションをとる中で、児童はネイティブの生きた英語に親しむことができている。



【問い合わせ先】学校教育課 (☎ 82-1201)

観光ガイド 山陽小野田 検定クイズ

わがまち「山陽小野田」のことをみなさんはどれだけ知っているか、問題にチャレンジしてみてください。

Q127

国の指定史跡である排水用樋門「浜五挺唐樋」がある地区は、次のうちどれでしょうか？

- ①埴生地区
- ②本山地区
- ③高泊地区

Q128

本市がホームタウンとなっているプロサッカーチーム「レノファ山陽」のクラブエンブレムは、次のうちどれをイメージした形でしょうか？

- ①レノファの頭文字「R」
- ②ライオンの「たてがみ」
- ③盾矛の「盾」

※解答と解説は12月1日号に掲載します。

前回の解答と解説

A125. ②住吉神社

明治32年(1899年)、若山公園近くの丘の上に建立された神社です。秋には紅葉を見ることができます。



A126. ①前方後円墳

県の指定文化財である「長光寺山古墳」は、県内の代表的な前方後円墳です。

山陽小野田観光協会 (観光課内 ☎82-1313)

市民病院 ニュース

緩和ケア外来を始めました

～がん治療をしながら日常生活を送るための医療です～

今年7月から、毎週水曜日の午前中に「緩和ケア外来」を始めました。「緩和ケア」は、終末期のつらい症状をとる医療だけではなく、現在では、がんの診断時から行うべき医療として位置づけられています。患者のみなさんが、がんを高血圧などと同じ身近な病気と捉え、治療をしながら日常生活を送ることが「緩和ケア外来」の目標です。患者と家族のみなさんのつらさを緩和し、少しでも明るい日々を送るお手伝いをしていきますので、詳しくはスタッフまでご相談ください。



担当医師
内田 雅人(麻酔科)

山陽小野田市民病院 ☎ 83-2355 <https://sanyo-onoda-city-hosp.jp/>